

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」寄稿文

川口市長 奥ノ木 信夫

川口市は、首都東京に隣接し、多様な経済活動や商業施設が集積する一方で、荒川、芝川などの水辺空間や、安行台地、見沼田んぼなどの貴重な緑地空間を有しています。この利便性や住環境などが高く評価され、昨年末に1都3県の街を対象とした「本当に住みやすい街大賞2020」で、川口市が見事第1位に選ばれました。

本市では、都市と自然の調和を次世代につなぐため、生活排水対策の推進や、国が提唱する「新しい生活様式」の実践にも意識し、石けん・洗剤の適量使用をはじめ、市民一人ひとりができる行動の促進に努めてまいります。

皆様の永年の活動に深く敬意を表しますとともに、これからも環境にやさしい「せっけん運動」の発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」

さいたま市長 清水勇人

さいたま市は、文教都市、経済都市、文化・芸術のまち、歴史と伝統のまちとして発展してきました。一方で、見沼田んぼや荒川に代表される水と緑を有していることから、人と自然が共生した街づくりを目指しております。

本市では、この多様で恵まれた自然を守り、次世代へ引き継ぐために「さいたま市水環境プラン」を策定し、行政のみでなく市民・団体・事業者の方々と協働で、水環境への負荷低減及び保全・再生に取り組んでいます。せっけんの適量使用についても、負荷低減には非常に重要です。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境保全への取り組みに敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。